

(公表日) 令和 3 年 9 月 1 日

令和 4 年度調査・研究助成募集要項

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団(理事長 井上徳造)は、科学技術創造立国としての日本を担うためには、電子通信工学の基礎知識を習得し独創性を持った若い技術者の実践的育成が重要であることから、大学院博士後期課程で電子通信工学に関する調査・研究を行う者に助成を行うことを目的として調査・研究助成金交付対象者を募集します。

1 助成金交付対象者の資格等

近畿地域(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県をいう。)の大学院で電子通信工学関係を学んでいる者であって、交付の時期に大学院博士後期課程に在学し、独創的で新規性があり、かつ、将来の発展性がある調査・研究を行っている者としてします。

応募は一人 1 件を原則とし、本財団の当該年度における奨学生との併願及び電子通信工学振興事業助成金(海外で研究発表を行う渡航費の助成)の交付申請は認めません。

なお、海外で研究発表を行う渡航費を主な経費とした助成を希望する場合は、本財団の電子通信工学振興事業助成金(海外渡航助成)をご利用ください。当該助成に係る応募方法等は本財団 Web サイトの振興事業のページに掲載しています。

2 調査・研究助成の対象分野

- (1) アナログ基礎技術に関するもの
- (2) 無線通信工学に関するもの
- (3) (1)、(2)以外の電子通信工学に関するもの

3 応募期間

令和 3 年 12 月 1 日(水)から令和 3 年 12 月 24 日(金)まで
(12 月 24 日消印有効)

4 応募書類(様式)の入手方法

本財団の Web サイトからダウンロードしてください。

URL <https://www.icom.or.jp/tyousa-jigyau/>

5 応募時に提出する書類

- (1) 調査・研究助成金交付願書(財団制定様式)
- (2) 調査・研究助成金交付者推薦書(財団制定様式による在学する大学院研究科長、或いは大学学長等の推薦書)
- (3) 成績証明書(大学院と学部の方を提出してください。)
- (4) 本人宛に選考結果を通知するための返信用封筒(長 3 封筒に住所、宛名を記入し、84 円切手を貼付してください。)
- (5) 提出書類は全て日本語で記載してください。
- (6) 調査・研究助成金交付願書・添付資料は片面で記載して裏面は空白にしてください。

6 助成対象者の選考と決定

- (1) 本財団の選考委員会の選考を経て、本財団の理事長が採用内定者を決定し、3 月中旬ごろに本人及び大学に通知します。
- (2) 内定者の正式採用は、在学証明書の提出により決定します。

7 調査・研究助成対象者の採用人数

5 名程度

8 調査・研究助成金の額等

- (1) 調査・研究助成金額は、年額 30 万円以内とし、その金額は選考委員会において決定します。
- (2) 本財団の調査・研究助成金は返済の義務はありません。
- (3) 他の団体等との助成金の併給は支障ありません。

9 助成期間等

助成期間は、大学院に在籍する令和 4 年 4 月 1 日から 1 年間を対象とし、助成金の交付時期は令和 4 年 4 月下旬を予定しています。

10 調査・研究助成対象者の義務

- (1) 調査・研究活動等の終了後(助成期間の終了後)2 カ月以内に、実績及び研究報告の要旨並びにその収支について、本財団に報告していただきます。また、本調査・研究助成を受けた内容の成果を、その全部或いは、その一部を学会などで報告し、当該誌に掲載された場合には、そのコピーを 1 部添付してください。

これらの調査・研究成果のその内容は、本財団の Web サイトに掲載されることをあらかじめご了承ください。

- (2) 調査・研究成果を公表する場合は、原則として、本財団の調査・研究助成を受けている旨を明示していただきます。また、前記(1)に従い、終了後にコピーを1部添付してください。
- (3) 調査・研究助成を受けた調査・研究成果に関する特許権、著作権等は、当該助成対象者に帰属するものとします。
- (4) 助成金は、調査・研究にあたり通常必要とされる費用(参加費、出張費、物品費、印刷費等)を原則とし、諸給与などの経費は除くものとします。
- (5) 上記の義務に反した場合や、調査・研究内容を変更又は調査・研究を中止した場合は、助成金を返還していただくことがあります。
- (6) その他、調査・研究助成金交付規程を遵守してください。
(調査・研究助成金交付規程は、採用され次第配布します。)
- (7) 次の事項が生じた時は、直ちに届け出てください。
 - ア 本人の氏名、住所、電子メールアドレス等の連絡手段に変更があったとき。
 - イ 休学、復学、転学、留学、留年、停学、退学など学籍上の異動があったとき。

11 調査・研究助成終了後のお願い

本財団では、調査・研究助成金の交付対象者の方々との「きずな」を大切に考えておりますので、終了後も連絡が取れるようにしてください。

12 個人情報の取り扱いについて

本財団は、個人情報の保護に関する法律の趣旨に基づき、調査・研究助成金交付願書等により取得した個人情報は、選考作業や採用後の連絡に関する業務に限定して使用いたします。なお、応募書類等は一切返却いたしません。

13 お問合せ・応募先

〒547-0003

大阪市平野区加美南 1-1-32 (アイコム株式会社内)

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団 事務局長

Tel/Fax 06-4303-0162

E-Mail z_info@icom.co.jp

財団 URL <https://www.icom.or.jp/>

調査・研究助成金交付願書

令和 年 月 日

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団

理事長 井上 徳造 殿

貴財団の調査・研究助成を希望したいので、所定の書類を添付して応募します。

フリガナ			(西暦) (2022年4月1日現在で記載)
氏 名	印	生年月日 年 齡	年 月 日生 (才)
本人の 現住所	〒 ー		
電話 番号		国 籍	
E-mail (パソコン)		E-mail (ケータイ)	
4月1日 予 定 の 学籍	記載例 ○○大学大学院○○研究科○○専攻(博士後期課程○年)		
家族の 住 所	〒 ー		電話 番号
分 野、 調 査・ 研 究 テ ー マ、 要 旨	分野	(1) アナログ基礎技術 (2) 無線通信工学 (3) 左記以外の電子通信工学 最も当てはまるものに○をつけてください。	
	テーマ		
	要旨		
調査・研究の要旨を <u>200字以内</u> で簡潔に記入してください。			

調査・研究の目的、計画、方法	どのような背景、課題があり、調査・研究期間(1年間)で何をどこまで明らかにしようするのか、現時点での構想、その目的並びに独創性を具体的に記入してください。あわせて、その目的を達成するための調査・研究の実行計画と実施方法を具体的に記入してください(助成金の使途(参加費、出張費、物品費、印刷費等)と関連付けて記載願います。)。更に、調査・研究の遂行によって関連研究分野に与える影響や当該研究の発展性についても記入してください。また、これまでに関連する調査・研究を実施している場合は、その内容、準備状況、結果等についても記入してください。		
調査・研究実績	調査・研究実績(最近2年間の関係する発表論文等)を記入してください。 また、当該論文等の原稿(予稿なしの場合は、発表ポスター又は発表スライド若しくは発表が確認できる学会プログラムの該当ページ或いは採択通知)の1ページ目のコピーを添付し、表記は論文の参考文献に準じて記載してください。		
希望する助成金額	万円 助成を希望する金額(30万円以内)を記載してください。		
助成金の使途内訳	項目	算出根拠	金額
			円
	合計		円

調査・研究助成金交付願書記入要領

黒インク・黒ボールペン・ワープロ直接印字のいずれかで記入（日本語にて作成）してください。

なお、ワープロを使用する場合、文字の大きさは、10～11ポイント程度とし、カラーは使用しないでください。

書ききれない場合、紙面の追加は差し支えありませんが、別の様式での申し込みはできません。また、調査研究実績以外の資料の添付は認められません。

- 1 「氏 名」：フリガナを付して、押印してください。
「生年月日」：申込者の生年月日を西暦で記入してください。
申込翌年の4月1日現在の満年齢を記入してください。
- 「学 籍」：略称ではなく、所属大学の正式名称で記入してください。
- 2 「調査・研究テーマ、要旨」：調査・研究のテーマと要旨を記入してください。テーマは例えば、「〇〇〇に関する調査・研究」など。
続いて、調査・研究の要旨を200字以内で簡潔にまとめ記入してください。
- 3 「調査・研究目的、計画、方法」：どのような背景、課題があり、調査・研究期間(1年間)で何をどこまで明らかにしようするのか、現時点での構想、その目的並びに独創性を具体的に記入してください。あわせて、その目的を達成するための調査・研究の実行計画と実施方法を具体的に記入してください(助成金の使途(参加費、出張費、物品費、印刷費等)と関連付けて記載願います。)。更に、調査・研究の遂行によって関連研究分野に与える影響や当該研究の発展性についても記入してください。また、これまでに関連する調査・研究を実施している場合は、その内容、準備状況、結果等についても記入してください。
- 4 「調査・研究実績」：最近2年間に学術誌などに発表した論文などのうち主要なものを記入してください。共同研究の場合は、研究分担者を含め全員の氏名を記入してください。なお、当該論文等の原稿(予稿なしの場合は、発表ポスター又は発表スライド若しくは発表が確認できる学会プログラムの該当ページ或いは採択通知)の1ページ目のコピーを添付し、表記は論文の参考文献に準じて記載してください。
- 5 「希望する助成金額」：助成を希望する金額(30万円以内)を記載してください。
- 6 「助成金の使途内訳」：助成金の使途内訳を記入してください。費用の一部を負担する場合は、算出根拠欄に「〇〇円×〇個＝〇〇円のうち〇〇円」のように記入し、金額欄には本財団の助成でまかなう金額を記入してください。

調査・研究助成対象者推薦書

令和 年 月 日

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団

理事長 井上 徳造 殿

○ ○ 大学大学院
学 長 ○○ ○○ 印
(又は工学研究科長等)

下記の学生は、学業、人物ともに優秀であって、かつ健康であると認められるので、貴財団の調査・研究助成対象者として推薦します。

氏 名			学籍番号		
現住所					
(在学中の大学、大学院、研究科、専攻、課程、学年を記入してください)					
大学大学院		研究科	専攻	博士 (前期・後期) 課程	年
※ 該当するものを○で囲んでください					
推薦理由 (記載者の役職及び氏名)					

